
Interstage Interaction Manager V9

Oracle Database 11g 適用手順書

はじめに

Interstage Interaction Manager V9 ポータル機能は、データベースにOracle Database 11gを使用する場合、Oracle Database 10gのJDBCドライバを使用します。

本書は、製品マニュアル「Interstage Portalworks セットアップガイド」から追加になるOracle Database 11gの適用手順を記載したものです。

製品マニュアル「Interstage Portalworks セットアップガイド」と異なるセットアップ手順を抜粋して説明します。

略称

本書に記載されている製品の名称は、以下のように省略して表記する場合があります。

略称	正式名称
Interaction Manager	Interstage Interaction Manager
Solaris	Oracle Solaris

対象バージョン

Oracle Database 11gが使用可能なInteraction Manager V9のバージョンは以下のとおりです。

- Interaction Manager V9.1.1 (Windows)
- Interaction Manager V9.1.1 (Solaris)

登録商標

- Microsoft Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。
- その他、使用している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。
- 本書に記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示 (TM・®) を付記していません。

改版履歴

2011年11月 初版

お願い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

著作権

Copyright 2011 FUJITSU LIMITED

目次

第1章	セットアップ手順 (Windows)	3
1.1	RDBMSのインストール/リポジトリ用RDBの作成.....	3
1.2	JDBCドライバのインストール.....	3
1.3	Interstage Portalwoksのインストール.....	4
第2章	セットアップ手順 (Solaris)	5
2.1	RDBMSのインストール/リポジトリ用RDBの作成.....	5
2.2	JDBCドライバのインストール.....	5
2.3	Interstage Portalwoksのインストール.....	6

第1章 セットアップ手順 (Windows)

Interaction Manager V9.1.1 (Windows版) について説明します。

1.1 RDBMSのインストール／リポジトリ用RDBの作成

1. Oracle Database 11gをインストールします。
2. リポジトリ用RDBを作成します。
「Interstage Portalworksセットアップガイド」の「2.1.2 RDBMSのインストール／リポジトリ用RDBの作成」の「Oracle 10g」の説明に従って作成します。

1.2 JDBCドライバのインストール

「Interstage Portalworksセットアップガイド」の「2.1.3 JDBCドライバのインストール」を参照しながら、下記のセットアップを行います。

Oracle Databaseクライアント/JDBCドライバのインストール

Portalworksサーバに、Oracle Database 10gのOracle Databaseクライアントをインストールします。

Oracle Databaseクライアントがない場合は、Oracle Database 10gのJDBCドライバ(ojdbc14.jar、orai18n.jar)をダウンロードし、インストールします。JDBCドライバのコピー先は、以下のディレクトリ構成としてください。

```
[親ディレクトリ]¥jdbc¥lib¥ojdbc14.jar  
[親ディレクトリ]¥jlib¥orai18n.jar
```

例えば、C:¥oracle¥product¥10.2.0¥Db_1にコピーする場合は、以下の構成にします。

```
C:¥oracle¥product¥10.2.0¥Db_1¥jdbc¥lib¥ojdbc14.jar  
C:¥oracle¥product¥10.2.0¥Db_1¥jlib¥orai18n.jar
```

ポイント

必ず、「Oracle Database 10g」のOracle Databaseクライアントまたは、JDBCドライバをインストールしてください。Oracle Database 10gのJDBCドライバは、Oracleダウンロードサイトより入手してください。

Interstage Application Serverへの設定

Interstage Application Serverのインストールが完了したら、Interstage Application Serverの管理コンソールでJDBCドライバのクラスパスの設定を行います。

JDBCドライバをインストールした場合の設定値は、「Interstage Portalworksセットアップガイド」の「2.1.3 JDBCドライバのインストール」に記載されたパスではなく、以下の値を設定します。

```
[Oracle JDBCドライバ・格納先ディレクトリ]¥ojdbc14.jar
```

1.3 Interstage Portalwoksのインストール

「Interstage Portalworksセットアップガイド」の「2.2.3 インストールの実施」に従って、Interstage Portalworksをインストールします。「Oracle連携のJDBC設定」では、以下のセットアップを行います。

Oracle連携のJDBC設定

- Oracleのバージョン：「Oracle 10g」を選択します。
- フォルダ名：JDBCドライバをインストールした場合、フォルダ名には「1.2 JDBCドライバのインストール」でJDBCドライバをコピーしたディレクトリを指定します。

第2章 セットアップ手順 (Solaris)

Interaction Manager V9.1.1 (Solaris版) について説明します。

2.1 RDBMSのインストール／リポジトリ用RDBの作成

1. Oracle Database 11gをインストールします。
2. リポジトリ用RDBを作成します。
「Interstage Portalworks セットアップガイド」の「2.1.2 RDBMSのインストール／リポジトリ用RDBの作成」の「Oracle」の説明に従って作成します。

2.2 JDBCドライバのインストール

「Interstage Portalworks セットアップガイド」の「2.1.3 JDBCドライバのインストール」を参照しながら、下記のセットアップを行います。

Oracle Databaseクライアント/JDBCドライバのインストール

Portalworksサーバに、Oracle Database 10gのOracle Databaseクライアントをインストールします。

Oracle Databaseクライアントがない場合は、Oracle Database 10gのJDBCドライバ(ojdbc14.jar、orai18n.jar)をダウンロードし、インストールします。JDBCドライバのコピー先は、以下のディレクトリ構成としてください。

```
[親ディレクトリ ]/jdbc/lib/ojdbc14.jar  
[親ディレクトリ ]/lib/orai18n.jar
```

例えば、/u01/app/oracle/product/10.2.0/db_1にコピーする場合は、以下の構成にします。

```
/u01/app/oracle/product/10.2.0/db_1/jdbc/lib/ojdbc14.jar  
/u01/app/oracle/product/10.2.0/db_1/lib/orai18n.jar
```

ポイント

必ず、「Oracle Database 10g」のOracle Databaseクライアントまたは、JDBCドライバをインストールしてください。Oracle Database 10gのJDBCドライバは、Oracleダウンロードサイトより入手してください。

Interstage Application Serverへの設定

Interstage Application Serverのインストールが完了したら、Interstage Application Serverの管理コンソールでJDBCドライバのクラスパスの設定を行います。

JDBCドライバをインストールした場合の設定値は、「Interstage Portalworks セットアップガイド」の「2.1.3 JDBCドライバのインストール」に記載されたパスではなく、以下の値を設定します。

```
[Oracle JDBCドライバ・格納先ディレクトリ]/ojdbc14.jar
```

2.3 Interstage Portalwoksのインストール

「Interstage Portalworks セットアップガイド」の「2.2.3 セットアップの実施」に従って、Interstage Portalworks をインストールします。リポジトリシステムに関する設定では、以下のセットアップを行います。

リポジトリシステムに関する設定 : Oracle

- 連携するOracleのバージョン : デフォルト値「Oracle version : Oracle10g」を確認し、「y<RETURN>」を入力します。
- Oracleのインストールディレクトリ : JDBCドライバをインストールした場合、ディレクトリ名には「2.2 JDBCドライバのインストール」でJDBCドライバをコピーしたディレクトリを指定します。